

第二名神高速道路の 全線早期整備について

平成17年12月

社団法人 関西経済連合会
社団法人 中部経済連合会
社団法人 東北経済連合会
中 国 経 済 連 合 会
四 国 経 済 連 合 会
社団法人 九州・山口経済連合会
社団法人 第二名神自動車道建設促進協議会

第二名神高速道路の全線早期整備に関する要望

第二名神高速道路は、第二東名高速道路と並んで、関西圏・中部圏・首都圏の三大都市圏の間、さらには、東日本と西日本の間を結ぶことにより、日本全体の人流・物流を支える大動脈となるとともに、阪神・淡路大震災のような大災害の際の代替ルートとしても機能することから、国家戦略として極めて重要な国土軸となる。

しかしながら、第二名神高速道路については、大津市～城陽市間、及び八幡市～高槻市間が「抜本の見直し区間」に指定され、また、三重県内にも未着工区間があり、全線整備の見通しが立っていない。

これら中部圏～関西圏間は、日本の東西物流の最大混雑地域であり、第二名神高速道路の全線整備がなされない場合には、**全国の物流のボトルネック**となって、日本の産業競争力に大きな悪影響を及ぼしかねない。

第二名神高速道路が、日本の大動脈としての機能を十分発揮できるよう、平成15年12月の政府・与党申し合わせの主旨に則り、コストは見直した上で、ネットワークが途切れることなく、抜本の見直し区間を含めた全線が早期に完成されることを強く要望する。

平成17年12月

社団法人	関西経済連合会	会長	秋山	喜久
社団法人	中部経済連合会	会長	豊田	芳年
社団法人	東北経済連合会	会長	幕田	圭一
中国経済連合会		会長	高須	司登
四国経済連合会		会長	大西	淳
社団法人	九州・山口経済連合会	会長	鎌田	迪貞

第二名神自動車道建設促進協議会

会長	大阪府知事	太田	房江
副会長	愛知県知事	神田	真秋
副会長	三重県知事	野呂	昭彦
副会長	滋賀県知事	國松	善次
副会長	京都府知事	山田	啓二
副会長	兵庫県知事	井戸	敏三
監事	名古屋市長	松原	武久
監事	神戸市長	矢田	立郎